



L1

40MHz

ハードウェア

トリガー用検出器を用いて、
高速に p_T を計算
RoIを出力

HLT

~100kHz

ソフトウェア

L2MuonSA

RoI周辺のミュオン検出器の情報を用いて、
 p_T を計算

L2MuonCB

L2MuonSAの情報と内部飛跡検出器の情報を
組み合わせて p_T を計算

MuonEF

全ての検出器の情報を用いて、
ミュオンの飛跡を再構成

~3kHz

データ保存